

さあ、広大な
太陽系をめぐる旅へ

スペース オアシス

宇宙に存在する水

©Brno Observatory and Planetarium

2026年5月31日(日)まで投影延長

土曜・日曜・祝日(3/21、3/22、5/3を除く※)

15:30

春休み期間の火～金曜日(3/27、3/31、4/1～4/3、4/7)

15:30

投影スケジュール等は変更になる場合があります。
最新の情報をホームページからご確認ください。

※ 3/20は「おもいやりプラネタリウム(スペースオアシス)」を開催します。3/21、3/22は星空リラクゼーション開催のため、本番組の投影はありません。
5/3は開館記念日無料公開のため、本番組の投影はありません。

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約25分と番組「スペースオアシス」25分)
■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円 ※ 4月1日より観覧料が改定になります。一般500円 中学生以下250円
■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内 ■ TEL 048(262)8431 ■ ホームページ <http://www.kawaguchi.science.museum/>



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum



STORY ストーリー

わたしたちが生きていくために必要不可欠な「水」。

地球にも豊富に存在している水は、他の太陽系の星にも存在するのでしょうか。水からはエネルギー源として水素と酸素が取り出せるなど、他の星で調達できる水の存在は宇宙開発の大きな進歩となります。

月のクレーター、金星の焼けつくような大気、火星の砂漠、木星や土星の凍った衛星など、広大な太陽系をめぐり、水を探す美しい旅へ出かけていきましょう。

地球以外の星に水が
存在しているなら
宇宙の可能性は
大きく広がっていく

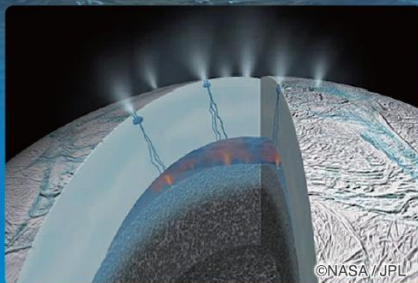


太陽系の中で水が存在する 可能性が考えられている惑星・衛星たち



火星の湖・ジェゼロ・クレーター

火星に存在する「ジェゼロ・クレーター」には、かつて広大な湖が存在していたと考えられています。火星探査車・パーサビアランスは、2021年2月にジェゼロ・クレーターに到達しました。2031年以降に岩石サンプルを地球に持ち帰る計画が進んでいます。



土星の衛星・エンケラドス

土星の衛星の一つ・エンケラドスは氷を主成分とする衛星です。土星探査機・カッシーニによって、エンケラドスの南極域の割れ目から大量の氷が噴出している様子が観測されました。



木星の衛星・エウロパ

木星の衛星の一つ・エウロパは地表面を厚さ数kmの氷で覆われており、氷層の下は液体の海であると考えられています。海の水の量は地球の約2倍と想定されています。

太陽系ってなに？

太陽系とその周りを周回する天体で構成されている天体をまとめて太陽系と言います。太陽系には8つの惑星が含まれており、わたしたちの住んでいる地球も太陽系に属しています。

太陽系の図

